

# 職人さん。

いの町のまちで会いましょう

第9話

2021.3月号

## 祖父母の店を受け継ぎ、男前を増やす。

おか しょうご  
理容師 岡尚吾さん



プロフィール：いの町出身。国際デザイン・ビューティカレッジのマンガ学科卒業。その後、祖父母の理容店を継ぐため理美容専門学校へ。いの町を応援するキャラクター「いの志士くん」「ようほにちゃん」の生みの親。

おそらくは世の女性にとって、子どもの頃お父さんで行って以来か、子どもを連れて行くか、まったく足を踏み入れたことのない空間ではないでしょうか。幅広い年代がひいき客となる、行きつけの、わが街の散髪屋さん。

店主の岡尚吾さんがシャキシャキと小刻みに動かす鋏の音。美容師さんとは、髪をカットする方法からして違います。現在37歳、祖父母から店を受け継いだのが25歳頃なので、すでに10年を過ぎました。

カットする姿勢にも、お客さんのエプロンを外して毛髪を振るう所作にも、無駄な動きはありません。職人さんにとっては当たり前のことでも、なんて新鮮に映るのでしょうか。お客さんと会話しながら、視線はぶれることなく集中しています。カットを終えたお客さん、シェービングに向けて熱いおしぼりを顔に当てられ、気持ち良さそうにゆるんでいます。ゆったり体を預け、顔そりまでやってもらってリフレッシュできるのが、美容院ならではの魅力。ぼつぼつと話す会話がまた、心を落ち着かせてくれるはず。



気持ち良さそうなこと！顔剃りは理容師に許された技術。

プロらしさが自然に身に付いている岡さん、意外にも子どもの頃は店の跡継ぎになろうとは思っていませんでした。高校卒業後は高知市の専門学校でマンガを学びました。1年ほど短期の仕事をしていたのですが、その後、祖父に後継を頼まれて理美容の専門学校へ入り直し、他店へインターンに行つて仕込んでもらいました。実は岡さん、いの町商工会のメンバーとして熱心に活動するなかで、特技のマンガを活かし、いの町おうえん隊のキャラクター「いの志士くん」「ようほにちゃん」を描いています。

みのお客さんが安心して来られる店になっています。祖母の恭子さんは「まじめに働いていますね。自分らの頃は中学を出て弟子に入って2年で国家試験が受けられたけど、今は高校を出て専門学校へ行くように時代も変わりました」と話します。岡さんの曾祖父は士族で、侍の鬘を結うのが仕事だったそうです。

ここは元町、かつて商店街の中心地だったところ。岡理容の隣は郵便局、向かいが警察、役場、銀行も近くにあり、生活の品はなんでもそろそろ街でした。映画館が3軒あったにぎやかな商店街。名字で呼ばず、名前と呼んで自分の家のように付き合っていた懐かしい街の記憶が、元町あたりには、まだ漂っています。

マッサージをしてひげを柔らかくしてから、いよいよ顔剃り。肌も髪もつやつやの、パリッととしたお兄さんが仕上がりました。行ってらっしゃい。

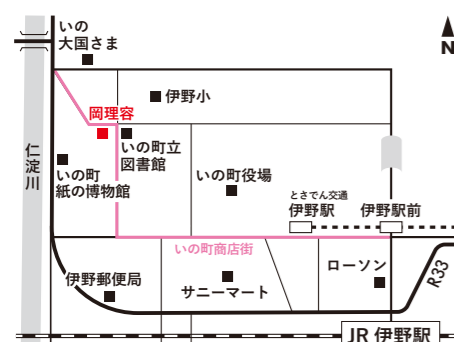


「コロナに負けずに頑張りましたよ」  
鋏を持つ手に、人への優しさでプロの  
テクニクが宿ります。



毎月書き換えている  
手製のPOP。

祖母の恭子さんは体調を崩した夫の分も店を切り盛りしていましたが、自分の代で終わりのつもりだったと言います。祖父の願いが通じて、店は灯りを灯し続けてきました。「お客さんの髪質や好みなどはさまざま。思ったようにできなかった時は、どうすれば良かったか、振り返るのも仕事です。」岡さんは直接祖父母に教わったというより、せつせとまじめに働く姿を幼い頃から見て育ちました。祖母との世代交替は、気負わず自然に。店の内装も大きく変えず、なじ



### 岡理容

いの町 3641  
営業 / 8:00 ~ 19:00  
定休日 / 月曜・第1火曜・第3日曜  
TEL / 088-892-0677

